

## ベネズエラ大統領代行による国民への年次メッセージ

デルシー・ロドリゲス

連邦立法宮殿、カラカス 2026 年 1 月 15 日

まず、ご出席の皆様に、侵略者との戦いで命を落とした若き英雄たちに、1 分間の拍手をお送りくださいますようお願い申し上げます。

2026 年 1 月 3 日の、あの深い闇に包まれた未明に戦った、謙虚な若きベネズエラの男女の皆さんに、名誉と栄光を捧げます。彼らは私たちの歴史に新たなページを切り開きました。

ここで私は、最前線の闘士であり国会議員でもある、私たちの愛する姉妹シリア・フローレスのご子息たちの立ち会いのもと、その椅子に一輪の花を捧げたいと思います。それは、我が国全土にいる愛国的なベネズエラ女性たちの美しさを象徴する花です。

私は、我が国大統領のご子息、そして姉妹であるホセフィーナ、ララ、そしてメアリー医師の立ち会いのもとで、改めて申し上げたいと思います。

1 月 5 日に私が宣誓したときと同じように、私は、彼らを取り戻し、解放するための戦いと希望へと昇華された痛みをここに持ってきました。

祖国を愛し、主権と独立を心から信じ、そして大統領とファーストレディを深く愛する私たちが感じている、その深い痛みを、私たちは彼らのためのたゆまぬ努力へと変えているのです。

私にとって、2025 年の記憶と報告をお届けすることは、特に非常に難しいことです。私は、大統領が拉致される 6 時間前まで、この演説と一緒に準備していたという、特別な証人を持っています。

私がニコラス・マドゥーロ大統領について特筆すべきことは、その精神には常に、困難に直面した人物であるシモン・ボリーバルが生き続けていたということです。なぜなら、最悪の困難、最悪の問題に直面しても、彼は、常に笑顔を絶やさず、常に楽観的な姿勢を貫いたからです。希望と、私たちをあらゆる場面で守ってくださる神への深い信仰が、彼を支え、今も私たちを支えているのです。

2025 年、私たちはそれについて話し合いました。そして彼はいつも私にこう言っていました。「私がそうなるだろうと言ったことを覚えていますか？あなたは心配していましたが、私はとても順調だ、それは奇跡だ、とあなたに言ったのです。ご存知のように、私は経済学者ではありませんが、経済学者たちは、過去を予測する専門家だと言われています。現在を予測する専門家ではない、と失礼ながら申し上げますが、経済学者たちは、時には終末的な数字、時には希望に満ちた数字を提示します。しかし、最悪の状況、つまり、わが共和国がこれまで経験したことのないような凶悪な経済封鎖という最悪の状況においても、マドゥーロ大統領はいつも私にこう言っていました。「国民を信じ、コミュンを信じ、コミュン評議会を信じ、農民を信じ、漁師を信じ、ベネズエラのビジネスマン、ビジネスウーマンを信じなさい」と。

炭化水素産業の労働者を信頼し、ベネズエラの生産的結束を信頼しなさい。

そして私は、彼自身が名付けた計画を彼と一緒に確認し、彼は私にこう言いました。「この計画は、私たちの父である解放者による『称賛すべき運動』に触発された『称賛すべき挑戦』と名付けられるでしょう。そして私たちは、称賛すべき挑戦 2026 を生産部門の皆様にお伝えしますが、生産レベルを維持するための明確な方針を策定しました。

農業、野菜、穀物、漁業、動物性タンパク質などの成長レベルを維持し、国内総生産（GDP）を 10%以上押し上げることを目指します。私たちは計画を立て、2026 年までの計画を立てました。それは、私たちの国民の希望が、いかなるものにも、いかなる者にも、決して打ち碎かれることのないようにするためです。

そして、この悲劇的な結末を迎えた物語がどのように始まったかを考慮すると、その直前の出来事は、12月にベネズエラに対して行われた海上封鎖でした。これは、ベネズエラが世界と自由貿易関係を築き、そのエネルギー産業の製品を販売できる、エネルギー輸出国としての可能性を封じ込めようとしたものです。

ベネズエラの公権力の代表者および首脳の皆様、ホルヘ・ロドリゲス博士、私の生涯の兄弟であり、戦いの仲間であり、歩みを共にする仲間であるあなたに、ご挨拶申し上げます。私の人生において、彼がそこにはいない瞬間、また私が彼の人生に存在していない瞬間を、私は一度も知らないし、思い出せません。

私たちが一体であり、人生が私たちを、私たちの父であるホルヘ・アントニオ・ロドリゲスの例に倣って、ボリーバル革命へと導き、彼の模範を守り、彼が最期の一息まで保った尊厳を守ったことは、誰にとっても周知の事実です。彼の模範によって、私たちは真に結束して歩み、今日も、私たちの愛するベネズエラを守るためにこの道を歩み続けています。

また、共和国検事総長、道徳的権威の主席、詩人であるタレク・ウィリアム・サーブにもご挨拶申し上げます。私は、17歳の若さで、この検事総長と出会いました。彼は、プントフィスモ（2大政党支配）という売国的な政策によって希望を完全に奪われた人々の、人権を守るために奔走していました。そして、そこには、検事でありながらも、何も恐れることなく、最も弱く、最も傷つきやすい人々を守る、勇敢な検事がいました。そして、彼は、私たちのニコラス・マドゥーロ大統領の擁護者でもありました。

司法権の長であるベアトリス・カリシア・ロドリゲスにもご挨拶申し上げます。私たちは大学時代の同級生であり、彼女の道徳的、職業的、倫理的、そして個人的な誠実さを保障いたします。

また、私が制憲議会の議長を務めていた2017年、選挙管理委員会委員長を務めていたエルビス・アモロソ氏にもご挨拶申し上げます。当時ベネズエラではワリンバという暴力活動（道路封鎖による抗議活動）が行われていた時期一緒でした。

2017年の憲法制定議会は、ベネズエラで暴動が頻発していた時期でしたが、私たちは共に憲法制定議会に参加し、彼はアリストプロ・イストゥリス教授とともに憲法制定議会の第二副議長を務めました。

親愛なる兄弟姉妹の皆様ご挨拶申し上げます。

ここに、私たちのボリーバル国民軍全体に対し、栄誉ある解放者軍の子弟たち、シモン・ボリーバルの子弟たち、常に戦闘に、常に戦いに身を投じ、高い士気を保ち続ける皆様に、敬意を表したいと思います。高い士気をもって！

副議長の皆様、大臣の皆様、皆様のご尽力に感謝申し上げます。私は、言わなければなりません。皆様は、犯罪的な経済封鎖の中で、私たちのベネズエラ、その最も差し迫ったニーズに対応し、経済戦争が私たちの祖国に与えた傷を癒すために、休むことなく奔走されていることを、私は証言いたします。

ベネズエラの全県の知事の皆様にもご挨拶申し上げます。2025年に真の政治勢力としてその地位を固め、今日、大統領とファーストレディに宣誓した、国家の権力、ベネズエラの国家の権力を維持するという目標を掲げていると言えます。

誤解のないように申し上げますが、皆様への私の感謝の意を表します。

そして、マドゥーロ大統領に代わって、2025年の年次報告書を提出するために参りました、議員の皆様にも、心からのご挨拶申し上げます。

この議会開催に加わった野党勢力の方々に敬意を表するとともに、前任期から引き続きご活躍の野党議員の皆様にもご挨拶申し上げます。

私は、ベネズエラでは新しい政治が築き上げられていると確信しており、そのことを責任を持って申し上げます。

各国大使、臨時代理大使、外交代表の皆様には、ベネズエラの真実を自国政府および世界に向けて伝えていただきたいと思います。

核保有国による、私たちの歴史上かつてない、前代未聞の武力攻撃を受けた後です。私たちの対立は前例のないものではありませんが、この攻撃は前代未聞です。私たちの対立、すなわちジェームズ・モンローとシモン・ボリーバルの対立は、歴史的なものです。1817年、18年、19年と、シモン・ボリーバルというコロンビアの統治者は、当時の米国政府から常に、悪党、ならず者、狂人、独裁者といったレッテルを貼られてきました。

ジョン・アーバインが、ベネズエラからジェームズ・モンローに送った手紙や報告書の中で、シモン・ボリーバルについて用いていた形容詞がそれであったことは、ご存じでしょう。彼は、モンローに「軍事的能力はまったくない」と伝えていました。これは1818年、ボリーバルが剣を手に5つの国々を解放する旅に出る前に述べられたものです。

この偉大な軍人、この偉大な人物、この英雄、この解放者は、当時のアメリカ合衆国大統領によって常に軽蔑され、汚名を着せられてきました。もちろん、麻薬密売人、麻薬テロリストといったような現代的なレッテルは存在しませんでした。しかし、大使の皆様、この矛盾は、歴史的なものであり、何世紀にもわたるものであり、モンロー主義が、この西半球における米国の帝国主義的な領土拡大を、私たちのアメリカ大陸の果てまで求めるという、対立する概念なのです。一方、ボリーバルは植民地主義や帝国主義からの解放を提唱しており、これらはまったく相反し、異なる地政学的・政治的見解です。

しかし、私は申し上げなければなりません。1818年、ご存じのように、ボリーバルはパエスに手紙を送り、ジェームズ・モンローの特使であるジョン・アーバインがベネズエラに到着し、その特使は独立の過程を支援するために来ている、と伝えています。ボリーバルはパエスに、彼らは支援のために来ると伝えています。そしてその答えは、ご存じのように、中立法という名目でしたが、その裏には、スペインが引き続き私たちの祖国を支配し、支配権を維持するという裏切りがありました。しかし、ボリーバルは、それを敗北としてではなく、ベネズエラ国民がどのような人々であるかを示すために強調しました。私たちは人間的な意味において熱烈な信者であり、相手の言葉を信じ、狡猾な人々ではなく、一度約束したことは、命をかけて守ります。それが、良識あるベネズエラ国民なのです。

ご存じのように、モンローとボリーバルの間には休戦はまったくありませんでした。

その後、ペルー大統領となったボリーバルは、ペルー駐在の米国領事チューダーと会談しましたが、状況は変わらなかったのです。そして1829年に亡くなる前のボゴタでは、矛盾がありました。兄弟姉妹の皆様、その矛盾を恐れる必要はありません。何世紀にもわたって、私たちはその歴史的な矛盾とともに生きてきたのですから。親愛なるボリーバル国民軍の皆様、その歴史的な矛盾は、私たちに付きまどってきたものです。

その違いは、従順な統治者たち間の関係、つまりアーバインがモンローに勧めた「ボリーバルは排除すべきだ、ボリーバルは好戦的だ、ボリーバルは反植民地主義者だ（ミルトン大使）であり、従順な統治者が必要だ」という部分にあったのです。そこが、ベネズエラを統治してきたさまざまな政治家の種類の違いでした。

そして私はつい先日、炭化水素大臣として、私たちのエネルギー資源を譲り渡した者たちと、国家発展のための資源の自主的な開発と自主的な利用を擁護した者たちについて述べました。そこに違いがあります。そして私は、リストのトップに、他の偉人たちとともに、ベネズエラの石油をベネズエラ国民のために擁護したニコラス・マドゥーロ大統領が名を連ねている、と述べたのです。

石油産業の真の国有化をもたらしたのは、1976年のペレスによる見せかけの国有化とは対照的に、ウーゴ・チャベス司令官でした。

私は何も作り上げているわけではありません。そこには、商業化契約、技術依存契約、運営契約が、存在したのです。

それゆえ、それは見せかけの国有化と呼ばれたのです。なぜなら、それらの契約は、世界の6大石油多国籍企業、とりわけ米国の企業に対する真の依存を伴っていたからです。

だからこそ、尊敬する議員の皆様、私はこう言うのです。もうたくさんです、政治家であるべきことを奪い、アメリカの命令に従うために身を捧げるような

政治家はもうたくさんです。そして、私はこう言います。歴史がこの責任を私に科したのです。私たちの祖国の平和を守るために、最も困難な時期の一つに。

歴史的な矛盾として、彼らが一線を越え、攻撃し、暴行し、殺害し、侵略し、マドゥーロ大統領とファーストレディを拉致したとき、私たちの関係には汚点が残りました。それは、米国とベネズエラの関係における汚点です。そして私たちは、その汚点を、英雄たち、ヒロインたちの前で誓って、外交的に、顔を合わせて解決すると述べました。ボリーバルが教えてくれたように、恐れることなく。ボリーバルは4か月間にわたり、アーバインと書簡のやり取りを続け、手紙が行き来しました。外交を恐れてはいけません。

ボリーバルは当時から、米国がどのような国であり、その力がいかに強大であるかを理解していました。そして彼はこう述べています。「この西半球を率いるのは、非常に強力で、非常に豊かで、好戦的であり、あらゆることを行う能力のある国である」と。私の言いたいことをご理解ください。私たちは、米国が非常に強力であることを知っています。ラン・フー大使、セルゲイ氏、米国が致命的な核保有国であることを知っています。人類の歴史における米国の実績を見てきました。私たちは知っています。

そして、外交的、政治的対話を通じて、この歴史的な矛盾を一度で、そして永遠に解決することを恐れてはいません。

兄弟姉妹、議員の皆様、政治的な立場は関係ありません。私はこう言います、それは問題ではない、私たちはベネズエラ国民として共に歩み、主権、独立、領土の完全性を守り、また私たちの尊厳と名誉を守らなければならないのです。

もうたくさんです、政治家であるべきことを奪い、ワシントンの命令に従うために身を捧げるような政治家たちはもうたくさんです。歴史が私にこの責任を科した、祖国の平和を守る上で最も困難な時期の一つに、私はこう申し上げます。

そして、私たちの父である解放者が言ったように、「平和は私の港であり、私の栄光であり、私の報いであり、私の希望であり、私の幸福であり、この世で最も貴重なものである」と。私は、この共和国の平和を守ることが意味することを、魂に刻み込んでおります。

そして私は、ベネズエラ国民の皆様、ベネズエラの平和を守り、祖国の平穏を守り、それを絶対的な高みと歴史的責任をもって行うよう呼びかけます。他に道はありません、他に道はないのです。

そして私は、現状をこう述べていますが、皆様もご存じのとおり、大統領代行が脅威にさらされているから恐れているというわけではありません。いいえ、違います！ベネズエラが脅威にさらされているのです。ベネズエラ全体が脅威にさらされているのです。だからこそ、私は国民の一致団結を呼びかけ、主権を最優先に外交的な戦いを繰り広げることを求めているのです。

そして私はこう言います。もし、大統領代行として、いつかワシントンに行くこととなったとしても、私は、引きずられてではなく、自分の足で立ち、歩いて行きます。三色の国旗を掲げ、私の心臓の鼓動に合わせて「勇敢な民の栄光」を歌いながら行くでしょう。

決して這ったり、引きずられたりすることはなく、立ち上がって行きます。それは、立ち上がったベネズエラ人としての当然の態度です。

私は今日、教師である両親の娘としてここに参りました。1月15日、教師の日を祝い、記念するこの日に、私は教師である両親の2つの心、そしてベネズエラへの深い愛情を私たちに植え付けてくれた両親の心を胸に抱いてここに参りました。皆様、私は団結を呼びかけます。野党のスターリン、エンリケに、私は団結を呼びかけます。なぜなら、私たちの国民は、政治家、これらの議員、そして統治者、公権力、すべての人々に、高潔さを期待しているからです。

皆様もご存じのとおり、12月に釈放プロセスを開始しました。それは、自由を奪われた人々が、憲法秩序に対する犯罪行為、憎悪、暴力、不寛容、そして私たちを殺害するためにやって来た外国の傭兵たちに対する個人的な責任を問



われていなかったからではありません。しかし、このプロセスが12月に開始されたのは、マドゥーロ大統領が、私たちは前進すべきであるとの考えを持っていたからです。2025年、チャベス主義は、ベネズエラのあらゆる分野において政治的な権力を固めました。しかし、最も重要なのは、人民の権力、コミュニティの権力、人民の力、その行動、領土における国家の行動を指図する権力です。

そして大統領は、こう述べました。「今こそ、政治の場に新たな空間を開く時です。新しい国民議会が誕生します。私たちは、政治の場に新たな空間を開くのです...」しかし残念ながら、ベネズエラが直面している非常に複雑な状況から、これは弱さの表れだと考える人々もいます。しかし、誤解しないでください。この新たな章も、法律の遵守を完全に尊重するものです。私たちは手を差し伸べ、チャベス主義は、修正すべき点があれば修正しています。私は、過激主義に近い、あるいはより民主的なベネズエラの野党にも、同じことを求めます。そして、私は、大統領代行としての権威からではなく、ベネズエラ国民が、私たち一人ひとり、ボリーバル主義の政治家としての行動を期待している、ベネズエラ国民の一人として、この歴史を理解し、それに応じて行動することを求めています。

1814年、第二共和国が失われた際、私たちの解放者である父はこう述べました。「不幸は、災難の後に英雄たちを育てる学校である...」私は、この侵略的な攻撃の後、ベネズエラ全体が、私たちの祖国が共和国と領土を守るために必要とする英雄たちの学校となることを願っています。国民が団結して、平穩を守るためにエセキボの救出に乗り出しましょう。

ベネズエラ国民として、皆様をお願いいたします。

さて、大統領と共に準備を進めておりましたが、大統領は皆様にサプライズを用意しておりました。大統領の年次施政方針演説は1月5日、1月5日に行われる予定でした。そのため、金曜日には夜8時まで作業を続けておりました。

私は、そこで話し合った要点と概要、そして重要な指針、つまり大統領の指針と大統領の年次報告書をお持ちしました。まず第一に、経済成長です。19四半期連続の成長により、ベネズエラは、ラテンアメリカ最大の経済成長国とな

り、2025 年の成長率は 8.5%に達する見込みです。12 月には、PDVSA の労働者が 120 万バレルの生産を達成するという大きな成果がありました。私は、国民に非常に明確に伝えたいので、図表を用意しました。青色で表示されているのが、いわゆる新しいシェブロン・モデルです。新しいシェブロン・モデルは、反封鎖法に規定されているモデルに他なりません。お気づきのように、このシェブロン・モデルには生産上限があります。なぜなら、ライセンスでは、PDVSA、シェブロン、PDVSA の 3 社による生産から得られる利益と配当のみを活用することが認められており、新たな資源を投資に充てることは認められていなかったからです。ご存じのように、3 社は 3 つの分野で提携関係にあります。真の飛躍は、いわゆる「生産分与契約 (CPP)」モデルによって実現しました。これは、反封鎖法に規定されているモデルであり、このモデルを通じて、2025 年には 9 億ドルに近い投資が達成され、120 万バレルに達することが可能となったことを、私は評価したいと思います。これは、このモデルに基づく、国内投資家および国際投資家の努力によるものでした。そこで本日、私は、このモデル、つまり反封鎖法に規定されている生産モデルを、炭化水素法に組み込むための炭化水素法の一部改正法案を提出したことを発表いたします。これにより、これらの投資フローを、これまで投資が行われてこなかった分野や、インフラが整備されていない分野といった、新たな分野に組み込むことが可能となります。

この立法機関の皆様には、この部分的な改正の承認をお願い申し上げます。2025 年のもう一つの大きな成果は、燃料の輸入ゼロです。ベネズエラには 1 バレルもガソリンが輸入されませんでした。国内に供給されたガソリンはすべて、私たちの労働者たちの手によって生産されたものでした…。

そして、10 年間見られなかった成果、すなわち輸入ゼロ、国内で消費されるガソリンをすべて自国で生産したことを達成しました。

もう一つの成果は、直接民主主義でした。そのため、冒頭で、国民権力モデルが確立されたと申し上げました。国民権力は、人民権力をその中核としており、約 2 億 8000 万ドルが、3 万 5000 のプロジェクトに投資され、コミュニケーションとコミュニケーション評議会によって直接実行されました。

もう一つの大きな成果は、国の治安の安定です。ベネズエラは平穏で、安全であり、殺人事件は10万人あたり3件にまで減少しました。この中南米地域の平均は10万人あたり16件です。また、麻薬取引が横行するエクアドルのモデルでは、10万人あたり70件の殺人事件が発生しています。我が国の治安の安定が成果ではないとおっしゃる方がいらっしゃるでしょうか。

経済回復により雇用の質も向上し、現在では正規雇用が増加しています。収入が回復するにつれて、正規雇用も回復しました。同様に、過去3年間で妊産婦死亡率および新生児死亡率は低下しました。

公共サービス分野では、経済社会の発展のために、実質的に5,000メガワットの新規発電容量が電力系統に組み込まれました。

水道供給量は、2024年と比較して110%の増加となりました。また、良き統治の1×10システムプラットフォームでは、730万件以上の案件が解決されました。

また、グアノコ湖のアスファルトが国家開発に活用された結果、舗装面積は70%増加しました。

これらは確かな成果であり、数多くの成果です。大統領と私が話していたように、真の成果が非常に多いため、数字や数値を挙げていくだけで一日が過ぎてしまうでしょう。議員の皆様、これらは、犯罪的な封鎖の中で、PDVSA、ペキベン、税収のおかげで、自らの努力によって達成された成果です。ここで、各機関の長、監督官、ベネズエラ中央銀行総裁に、前例のない経済封鎖という環境の中で、国内バランス、マクロ経済バランス、対外バランスを維持するために共同で行ってきた努力に対して、敬意を表します。2025年、1月2日金曜日、夜8時、私は大統領にこう伝えました。今年は、とても良い年でした。封鎖があったにもかかわらず、外部の制約があったにもかかわらず、そして、すでに海上封鎖を経験していたにもかかわらず、とても良い年でした。皆様にお知らせしたいのですが、1月3日の攻撃はベネズエラに対する初めての侵略ではありません。1819年、モンローは商船を回収するために2隻の軍艦を派遣しました。皆様もご存じのとおりです。だからこそ、私は恐れる必要はないと主張するのです。

米国のエネルギー政策におけるベネズエラの関与は、新しいものではなく、1世紀以上にわたる歴史があります。108年間で、ベネズエラは約780億バレルの石油を採掘してきました。そして、その780億バレルの石油のうち、エクソンモービルだけで200億バレルの石油を生産しています。ベネズエラと米国との間のエネルギー政策は新しいものではありません。1875年にグアノコ湖に最初にやってきた企業は、米国企業でした。私たちは、車輪を再発明しているわけではありません。私たちがしていることは、攻撃と激しい脅威の真っ只中にありながら、良識、尊厳、独立に基づくエネルギー協力の在り方を形作り、国内政治の制約や、私たちの外交政策を支配しようとする制約が、完全に解消されるよう努めていることです。ベネズエラは、中国、ロシア、キューバ、イラン、そして世界中のすべての国々との関係を築く権利があります。世界中のすべての国々、そして米国ともです。

私たちにはその権利があり、国際法に則り、敬意を持ってそれを行う権利があります。私たちにはその権利があり、それを正しく実行します。

そのため、このエネルギー協力により得られる外貨は、2つの基金に充てられることを発表いたします。経済担当副大統領、経済省、および財務省に対し、2つの主権基金の創設を指示します。最初の主権基金は、労働者の収入向上を目的とした社会保護基金であり、外貨は病院、学校、食糧、住宅に直接投入されます。

また、経済社会開発のためのインフラ・サービス主権基金の創設を指示し、その外貨は水道、電気、道路に充てられるものとします。2つの主権基金です。

さらに、これらの資源の使用を透明化し、官僚主義や汚職、怠慢のない技術プラットフォームの創設も要請しました。また、この立法機関に社会経済的権利保護のための基本法案を提出したいと思います。これは現実的な転換であり、ベネズエラの商業・経済セクターも認識している通り、価格制度は合意に基づくものであってはならず、懲罰的な価格制度を排除するものです。この社会経済的権利法は消費者を保護する役割を担います。

これは、ベネズエラで生産される製品が、世界における私たちの主要な大使であるように、商品やサービスが質の高いものであることを保障す

ド、海産物、ベネズエラ製の製品の輸出は、私たちの祖国のブランドを背負っています。この法律が承認されるよう、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そして、私は ...今日、私たちは、大統領とファーストレディに誓って、国家の権力の維持、ベネズエラの国家の権力の維持を目標としていると言えます。

最後に、手続きの迅速化のための基本法案を提出しました。迅速化とは、これまでとは違った言葉です。私は法務チームに対し、投資の流入を阻む手続きや、市民の日常的な行政手続きを妨げる手続きが存在する場合、国内のいかなる規範も適用除外とする「反封鎖モデル」を採用し、このモデルを公共行政の手続き・プロセスの迅速化に適用するよう指示いたしました。

親愛なるベネズエラ国民の皆様、私は今日、この困難な任務に就くにあたり、尊厳をもって遂行することを目指しております。皆様、そしてベネズエラの国民の皆様にも、尊厳をもって臨んでくださいますようお願い申し上げます。

政治が、憎しみや不寛容、反対派だから聞く耳を持たないといった態度から始まり、最終的には自国に対する経済封鎖や侵略、攻撃を要求する結果にならないよう、お願いいたします。

だからこそ、ベネズエラにおける反政治的な流れを転換しなければなりません。あらゆる公職、あらゆる公権力において、過激主義やファシズムが排除されるような政治活動を行わなければなりません。

私は、その反政治的な活動によって、米国とベネズエラの関係は最悪の事態に陥ったと確信しています。なぜなら、誰がより卑屈に振る舞うかを競い合い、ベネズエラ国民の苦しみは経済戦争の付随的な損害であり、労働者の収入への影響、公共サービスへの影響、民間・公共の経済分野への影響など、一切問題ではないと平然と発言しました。彼らは国を顧みませんでした。本日、私は謙虚に皆様をお願いいたします。目覚めたとき、ベネズエラが私たちのインスピレーションとなり、私が最初に考えるものがベネズエラであり、一人ひとりの卑しい利害関係は後回しになるようお願いいたします。ベネズエラの皆様、国民は私たちに高潔さを期待しています。国民は共存、寛容、尊敬、尊厳の尊

重を期待しています。それは、私たちが米国政府に求めてきたのと同じ、マドゥーロ大統領の尊厳と、ファーストレディの尊厳と誠実さに対する敬意です。

そして私はここで、1月5日に誓ったように、神と、私の父と、ベネズエラと、ベネズエラ国民と、ベネズエラの子供たちのために誓ったように、皆様の前で私の誓いを再確認いたします。私たちの父、解放者シモン・ボリーバルが言ったように、団結以外のモットーを持たないようにお願いいたします。高い道徳心、尊厳を胸に、揺るぎない誠実さをもって、ベネズエラの防衛に臨みましょう。

ベネズエラの皆様、誠にありがとうございました。